

文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」

2022年度 連携型共同研究 成果報告書

研究課題名	地域連携食育ネットワークにおける ICT を活用した児童生徒の食育プログラムの実施と評価
研究代表者	福村 智恵（大阪公立大学 生活科学研究科 准教授）
共同研究者	早見 直美（大阪公立大学 生活科学研究科 講師） 西川 章江（大阪教育大学 教育学部 准教授） 横山 久代（大阪公立大学 都市健康・スポーツ研究センター 教授） 鵜川 重和（大阪公立大学 生活科学研究科 教授）

研究成果

昨年度までに開発し、実践してきた中学生を対象とした朝食習慣改善のためのプログラムを引き続き実施した。本取組は、夏休み前に朝食に関する学習を実施し、これを受けて夏休み中に朝食づくりの課題を行った。学習前後での食生活の変化を事前・事後アンケートにより評価した。朝食づくりの課題で提出された朝食のなかから家庭で参考になる朝食を集めたレシピ集を成果物として作成し、家庭や地域に向け配布し、web 上にも公開した。

また、カルシウム摂取に関する学習及び骨密度測定を実施した。測定結果の返却とともに講話を行い、成長期において骨密度を高めることの重要性等について学習を行った。学習では ICT ツールを活用し、主体的にカルシウム摂取につながる食行動がとれているかを検証した。さらに、実施前後におけるカルシウム摂取量の状況について事前・事後アンケート分析した。

小学生を対象とした取組では、昨年度のモデル小学校にて実施した朝食習慣に関する導入学習を 6 年生対象に引き続き実施した。学習では朝食かるたの制作を通じて朝食の重要性を認識し、グループワークにおいて自身ができることを考えた。その後、朝食の課題を見つけて目標設定をし、実践につなげた。学習後の朝食習慣の変化や家庭での朝食づくりの状況は事前・事後アンケート、および朝食記録の分析により評価した。

さらに、地域の報告会において学校、行政等の地域ネットワーク内で共有し、食育パネル展への出展を行い、地域への発信を行った。